

第 41 回

全国消防救助技術大会

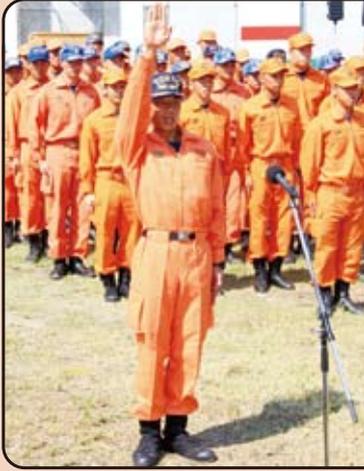
心をひとつに

~ POWER OF JAPAN ~

NATIONAL RESCUE MEET 41st



主催／一般財団法人 全国消防協会
後援／総務省消防庁・全国消防長会



心をひとつに ~ POWER OF JAPAN ~ NATIONAL RESCUE MEET 41ST

2012年8月7日(火)

会場 ゆりかもめ新豊洲駅前特設会場・
東京辰巳国際水泳場・ららぽーと豊洲

「心をひとつに」POWER OF JAPAN」をスローガンに、第四一回全国消防救助技術大会を去る八月七日、東京のゆりかもめ新豊洲駅前特設会場及び東京辰巳国際水泳場において、多くの来賓と市民を迎えて盛大に挙行了した。

この大会は、救助技術の高度化に必要な基本的要素の練磨を通じて、消防救助活動に不可欠な体力、精神力、技術力を養うとともに、全国の消防救助隊員が一堂に会し、競い、学ぶことを通じて、他の模範となる消防救助隊員を育成し、全国市民の消防に寄せる期待に力強く応えることを目的として毎年開催しているものである。さらに、第三五回大会からは市民の目線に立って大会内容を研究し、全国の市民に、消防の技術の高さ、力強さ、優しさをアピールするとともに、市民の参加できる大会を目指すなど、変革を遂げながら、今年で四一回の開催を数えるに至った。

昨年の第四〇回大会は、東日本大震災の影響で中止となり第三九回大会の京都より二年ぶりの開催となった。

第四一回大会の開催地となったのは東京都。平成一九年の第三六回大会が開催されて以来、五年ぶり五回目の大会開催となる東京都は、日本の政治・経済・文化の中心として、また、一、二〇〇万人が暮らす世界に冠たる国際都市でもあり、東京消防庁では都民の安全を守り安心を支えるため、全職員が一丸となって消防行政を強力に推進している。

この大会は東京消防庁主管のもと、市街地から遠いという悪条件の中で、いかに市民が参加しやすい環境を整えるかが当初の課題であった。公共機関の協力による事前広報や協力消防団体・協力会社など他機関との共催によるイベントの開催、シャトルバスの運行、運営要員を約一、〇〇〇名動員し、万全の態勢を整えた。

なお、本大会では、東日本大震災において特に甚大な被害を受けた東北三県(岩手、宮城、福島)の消防本部職員の激励と一層の士気高揚に資するため、特例措置として、ロープブリッジ救出、引揚救助、障害突破の東北地区支部出場人員割当組数を一組みずつ増やして実施した。

さて、大会当日は、今年の猛暑を象徴する炎天下の中、一般の方や消防関係者など約一八、〇〇〇名で埋め尽くされた会場内は、開会式を目前に熱気と興奮に包まれていた。

午前八時五十分、国際消防救助隊、緊急消防援助隊をはじめ、全国九地区支部から選抜された九八二名の精鋭たちが堂々と入場し、大会副会長である荒井横浜消防局長の開会宣言で大会の幕は開いた。

開会式ではまず、消防使命達成のため殉職された消防職員の御霊に対して黙とうを捧げた。続いて国旗・大会旗掲揚の後には、大会会長である北村全国消防協会会長のあいさつ、開催地である石原東京都知事(代理・安藤東京都副知事)のあいさつ、久保消防庁長官、秋本日本消防協会会長の祝辞と続

き、大会審判長の櫛井北九州市消防局長による審判長指示がなされた。その後、出場隊員を代表して東京消防庁の廣畑隊員が力強く隊員宣誓を行った。

開会式終了後のオープニングセレモニーでは、歌手の「小比類巻かほる」さんが、東京消防庁音楽隊とのコラボレーションで力強い歌声を披露していただいた。

いよいよ訓練の幕開けである。全国から選りすぐられた精鋭たちの眼差しは一段と鋭くなり、出番に臨む。救助のプロとして、また、消防本部の代表としてのプライドを背に燃えさかるような熱き魂を抱く隊員の姿と、応援する家族、仲間、の姿は、まさに大会スローガンである「心をひとつに」という想いであった。磨き抜かれた技術を次々と披露する隊員に、観覧席からは歓声と激励の拍手が鳴り止まなかった。

また、水上会場では厳しい訓練の合間に「ハーフトイムショー」として、「気仙沼・八幡太鼓ジュニアベストチーム」により力いっぱい演奏が披露された。

訓練の後半は、技術訓練。水上の部では熊本市消防局と白山野々市広域消防本部の二隊が「切迫した環境下での救助活動」をテーマに、陸上の部では大船渡地区消防組合消防本部、札幌市消防局、大阪府合同隊(大阪府下八消防本部で構成)の三隊が「高所からの救助」をテーマに、創意工夫を凝らした救助技術を披露した。会場で技術訓練を見守る隊員の眼差しも、細部にわたるまで吸収しようとする姿が感じられた。

閉会式が始まるまでの間は、東京消防庁音楽隊とカラーガード隊による特別演技が披露された。

閉会式では、各種目の入賞者を大会会長である北村全国消防協会会長が表彰し、「十分な安全管理の下、参加隊員に怪我もなく無事に大会を終了することができた。大会関係者の皆様にお礼申し上げたい。陸上の部、水上の部でそれぞれ隊員の皆さんが日頃鍛え抜いた気力、体力及び救助技術を遺憾なく発揮し、素晴らしい成果をおさめられたことは、我が国の消防救助技術が将来にわたり、世界をリードしていくものと確信している。本大会を一つの契機とし、今後より一層救助技術の錬磨、向上に努め、地域住民の負託に応えられるよう切望する。」との講評があった。国旗降納に続いて、大会旗が北村東京消防庁消防総監から次期開催地の山下広島市消防局長に引き継がれ、山下広島市消防局長が次期開催地としてあいさつした。その後、東日本大震災の被災地である東北地区支部の隊員から震災時の支援に対するメッセージ映像がオーロラビジョンで披露された。最後に、荒井横浜消防局長が閉会を宣言し、第四一回全国消防救助技術大会は幕を下ろした。

猛暑の中、東京消防庁の皆様をはじめ、大会運営に当たられました全ての方々に対し、衷心より感謝申し上げます。



挨拶

一般財団法人全国消防協会

会長 北村吉男

第41回全国消防救助技術大会の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、公務ご多忙のところ、久保消防庁長官をはじめ、多数のご来賓のご臨席を賜り、このように盛大に開催できますことを厚くお礼申し上げます。

さて、我が国の消防救助技術は、隊員の皆さんの救助に対する熱意とたゆまぬ努力、さらには、各種資機材等の改良により、着実に発展を遂げ、国内のみならず海外において発生した大規模災害にも国際消防救助隊として派遣され、懸命な救助活動を実施するなど、世界に誇れる救助技術を身に付けてまいりました。

しかしながら、近年、東日本大震災をはじめ、世界各地において発生している地震や台風、豪雨、洪水、竜巻などの自然災害は大規模化しており、消防の役割は、より一層重要になっております。

参加隊員の皆さんは、本大会において、これまでの訓練の成果を存分に発揮されますとともに、消防救助技術の練磨・向上に一層努め、地域住民の負託に応えられるよう切望いたします。

また、消防救助技術の充実は、安心・安全な都市「東京」を一層PRするものであり、2020年のオリンピック、パラリンピック開催の実現につながるものと期待しております。

結びに、本大会の開催にあたり、ご協力を賜りました関係各位に対しまして、深く感謝申し上げますとともに、ご列席の皆様の方々のご健勝を祈念申し上げます、挨拶いたします。



祝辞
日本消防協会会長
秋本 敏文



祝辞
消防庁長官
久保 信保



あいさつ
東京都副知事(代理)
安藤 立美



次期開催地あいさつ
広島市消防局長
山下 聰



審判長指示
北九州市消防局長
櫛井 正喜



開会宣言・閉会宣言
横浜市消防局長
荒井 守

陸上の部

ロープブリッジ渡過(基礎訓練)



水平に展開された渡過ロープ二〇メートル(往復四〇メートル)を往路はセーラー渡過、復路はモンキー渡過する。ロープ渡過の基本的な訓練。

【標準所要時間一八秒】

表彰者

- 【北海道】**
南渡島消防事務組合消防本部 高橋 航太
登別市消防本部 澤崎 敬太
富良野広域連合消防本部 米木 直人
- 【東北】**
五所川原地区消防事務組合消防本部
能代山本広域市町村圏組合消防本部 其田 正敬
宮古地区広域行政組合消防本部 赤塚 隆介
天童市消防本部 佐々木裕太
早川 雄大

- 仙台市消防局 石川 龍平
郡山地方広域消防組合消防本部 高橋 潤
十日町地域消防本部 飯塚 裕喜

- 【関東】**
太田市消防本部 安藤 功幸
大田原地区広域消防組合消防本部

- 日立市消防本部 栗田 勝
所沢市消防本部 井上 亮
旭市消防本部 小井 佑輔
東京消防庁 石川 哲平
東京消防庁 今村 優太

- 富士五湖広域行政事務組合富士五湖消防本部 暮地 隆志
田方消防本部 古屋 有輝

- 【東海】**
海部東部消防組合消防本部 林 浩司
羽島市消防本部 栗山 剛一
伊賀市消防本部 坂本 聖和

- 【東近畿】**
射水市消防本部 塚田 祐也
金沢市消防局 小山 雄史
勝山市消防本部 前田 亮平
大津市消防局 山本 啓二
宇治市消防本部 上山 雄也
香芝一広陵消防組合消防本部 藤田 昌平
日高広域消防事務組合消防本部 吉田 一也

- 【近畿】**
茨木市消防本部 大西 伸明
宝塚市消防本部 飯田 善隆

- 【中国】**
鳥取中部ふるさと広域連合消防局 瀬戸 啓太
東広島市消防局 土井 英仁
安来市消防本部 山本 達也
萩市消防本部 佐々木 恭平

- 【四国】**
美馬市消防本部 片岡 孝樹
松山市消防局 寺井 健之

- 【九州】**
福岡市消防局 木村 昌広
佐賀広域消防局 久富 健太
松浦市消防本部 菊屋 利章
阿蘇広域行政事務組合消防本部 石田宗一郎
竹田市消防本部 後藤 健介

- 宮崎市消防局 大羽貴一郎
大隅肝属地区消防組合消防本部 豊重 彰太
うるま市消防本部 銘刃 大志

はしご登はん(基礎訓練)



自己確保の命綱を結索した後、垂直はしごを一五メートル登はんする。災害建物への進入等、消防活動には欠かせない訓練。

【標準所要時間一四秒】

表彰者

- 【北海道】**
南渡島消防事務組合消防本部 春山 裕樹
日高東部消防組合消防本部 高橋 俊
札幌市消防局 嘉島 知宏
富良野広域連合消防本部 浅野 優也
網走地区消防組合消防本部 太田 将吾
つがる市消防本部 葛西 和貴
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 伊藤 和馬
宮古地区広域行政組合消防本部 小鯖 貴史
鶴岡市消防本部 齋藤 友也
石巻地区広域行政事務組合消防本部 渡邊 晃
伊達地方消防組合消防本部 鈴木 和法
長岡市消防本部 高野 智章
前橋市消防局 比企 雄也

- 塩谷広域行政組合消防本部 小林 靖幸
笠間市消防本部 成田 雄一
児玉郡市広域消防本部 上田 貴之
佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部 山下安喜良

- 東京消防庁 塩月 康之
東京消防庁 佐藤 貴紀
座間市消防本部 曾根 恵治
甲府地区広域行政事務組合消防本部 小林 健太
松本広域消防局 永田 将丈
袋井市森町広域行政組合袋井消防本部 佐藤 正弥

- 【東海】**
揖斐郡消防組合消防本部 細野 靖博
桑名市消防本部 増田 満生

- 【東近畿】**
富山市消防局 島 和也
永平寺町消防本部 西村 光平
大津市消防局 澤田 浩志
八幡市消防本部 中山 直也
奈良市消防局 田中 信行

- 【近畿】**
堺市消防局 中野 倫英
朝来市消防本部 木原 秀幸
倉敷市消防局 西井 修

- 【中国】**
鳥取県西部広域行政管理組合消防局 松本 幸博
広島市消防局 雲南広域連合 雲南消防本部 矢野 誠和
雲南広域連合 柳井地区広域消防本部 長沼 圭祐

- 【四国】**
小豆地区消防本部 千葉 隆雅
みよし広域連合消防本部 安藤 竜介
松山市消防局 亀澤 浩
高知市消防局 西村 圭司

- 【九州】**
久留米広域消防本部 南 広輝
有田町消防本部 岩永 拓也
長崎市消防局 太田裕一朗
八代広域行政事務組合消防本部 村岡 勲幸
竹田市消防本部 古澤 淳士
日向市消防本部 椎葉 和喜
阿久根地区消防組合消防本部 和田 龍典
沖縄市消防本部 宮里清十郎

ロープ応用登はん(連携訓練)



登はん者と補助者が二人一組で協力し、器材を使わずに塔上から垂下されたロープを一メートル登はんする。
【標準所要時間一六秒】

表彰者

【北海道】

八雲町消防本部 寺田智太郎
秋本 貴広
札幌市消防局 坂下 逸平

富良野広域連合消防本部 宮崎 和亮
北十勝消防事務組合消防本部 山形 貴博
工藤 達人
小野内英人

【東北】

北秋田市消防本部 長谷川 裕也
佐藤 伸秋
大船渡地区消防組合消防本部 上部 朝喜
鈴木 健太
鶴岡市消防本部 馬戸場 信也
土田 智大

石巻地区広域行政事務組合消防本部 阿部 辰紀

伊達地方消防組合消防本部 千葉 嘉規

新発田地域広域事務組合消防本部 佐藤 和弘

大西 水野 俊一
大西 亮

【関東】

太田市消防本部
足利市消防本部

鹿行広域事務組合消防本部
草加市消防本部

印西地区消防組合消防本部

東京消防庁

東京消防庁

厚木市消防本部

峡南広域行政組合消防本部

伊南行政組合消防本部

藤枝市消防本部

【東海】

西春日井広域事務組合消防本部

可茂消防事務組合消防本部

桑名市消防本部

【東近畿】

富山市消防局

能美広域事務組合消防本部

大野市消防本部

湖南広域消防局

宇治市消防本部

中吉野広域消防組合消防本部

【近畿】

大阪市消防局

鈴木 彰人

深須 貞治

篠崎 成哉

齋藤 仁

出久根 一哉

堀越 浩司

勝浦 亮

中田 智

武藤 多加郎

遠藤 昇

加藤 勇樹

平若 清久

佐藤 由泰

中野 充敏

加藤 岳夫

大坪 高広

岸本 拓

浅河 瑛介

戸枝 宏樹

井上 大樹

高橋 翔太

魚住 佳秀

池口 貴文

兼松 寛之

小坂 大輔

児玉源 太郎

神戸市消防局

津山圏域消防組合消防本部

鳥取県西部広域行政管理組合消防局

浜田市消防本部

萩市消防本部

【四国】

板野東部消防組合消防本部

松山市消防局

香美市消防本部

【九州】

直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部

鳥栖・三養基地区消防事務組合消防本部

島原地域広域市町村圏組合消防本部

熊本市消防局

別府市消防本部

日向市消防本部

指宿地区消防組合

比謝川行政事務組合三ノイ消防本部

田中 幹人

山本 千昭

友保 雅也

福田 賢司

谷村 和也

小野 知幸

仲濱 克起

綿屋 佳潤

藏増 真司

小縣 光弘

岩田 英基

石山 智司

深水 章生

黒瀬 勇介

平 慎二

荒牧 弘教

塩川 真吾

樫迫 千弦

前田 晋作

伊藤 正吾

大津 博紀

上野 武

石橋 弘規

大石 直和

志手 孝臣

熊本恭 詩朗

ほしく救出(連携訓練)



三人一組(要救助者を含む)で、一人が空気呼吸器を着装して長さ八メートルの煙道内を検索し、要救助者を屋外に救出した後、二人で安全地点まで搬送する。ビルや地下街等で煙に巻かれた人を救出するための訓練。
【標準所要時間一分一〇秒】

表彰者

【北海道】

札幌市消防局

紋別地区消防組合消防本部

能代山本広域市町村圏組合消防本部

大澤 光祐

岩松 彰吾

内海 恒太

今井 智博

若井 勇人

夏井 佳成

七尾 悠

工藤 秀平

釜石大槌地区行政事務組合消防本部

村山市消防本部

巨理地区行政事務組合消防本部

郡山地方広域消防組合消防本部

【関東】
高崎市等広域消防局

栃木市消防本部

川口市消防局

佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部

東京消防庁

東京消防庁

厚木市消防本部

峡南広域行政組合消防本部

千曲坂城消防本部

焼津市消防本部

月山 智

合澤 伸悟

花石 創

大地 紘太

井上 庄平

伊藤 貴将

大久保 大介

齋藤 剛

阿部 龍太郎

永瀬 秀明

服部 雅

相原 翔平

伊藤 久史

金井 寛和

山田 慧

高木 孝昌

佐山 英章

出井 庸亮

山口 正教

長原 勇介

濱田 悠秀

千葉 宗

上村 俊祐

中村 豪志

小澤 雄樹

櫻庭 義丈

岡村 浩介

内田 隆太

内森 英良

島崎 亮岬

甲州 謙吾

内藤 亮

諏訪 真弥

山田 源太

深澤 拓

山崎 優太郎

山口 和哲

【東海】
大府市消防本部

岐阜市消防本部

松阪地区広域消防組合消防本部

【東近畿】
高岡市消防本部

高島市消防本部

香芝・広陵消防組合消防本部

【近畿】
岸和田市消防本部

神戸市消防局

【中国】
赤磐市消防本部

鳥取県西部広域行政管理組合消防局

広島市消防局

江津邑智消防組合消防本部

長門市消防本部

大崎 雅矢

河端 郁弥

榎山 功騎

田島 高満

永田 雄也

鷲崎 大剛

鈴木 信寛

黒川 祥吾

大西 祐吾

松田 啓吾

中島 琢未

越田 哲司

吉田 周平

八田 駿一

栗牧 寛彦

光原 浩史

杉原 正洋

丸山 大輔

徳田 元基

武藤 孝之

辻 岳史

松上 倫也

柏原 剛

村中 常恭

坂井 俊昭

内田 裕喜

足立 健

齋木 誠英

大谷 祐司

林 大夢

三本 友樹

高島 誠司

齋藤 真

永井 圭淳

泉 雅一

坂本 直紀

平川 泰基

【四国】
高松市消防局

【九州】
飯塚地区消防本部

杵築地区広域市町村圏組合消防本部

八代広域行政事務組合消防本部

宇佐市消防本部

日向市消防本部

阿久根地区消防組合消防本部

向井 正起

川崎 康央

牟礼 翔太

大野 真和

藤春 翔

利光 和也

中村 良和

林 和樹

坂井 隆文

高野 大悟

上村 浩允

谷本 涉

尾立 憲彦

後藤 文俊

江藤 卓人

永友 新章

曾根 友章

河野 朋史

永田 康夫

宮脇 祐二

中村 文俊

【表彰者】
四人一組（要救助者を含む）で、二人が水平に展開された渡過ロープ（二〇メートル）により対面する塔上へ進入し、要救助者を救出した後、脱出する。要救助者を隣の建物等から進入し、救出することを想定した訓練。

【標準所要時間一分一五秒】

表彰者

【北海道】
函館市消防本部

登別市消防本部

【東北】
石巻地区広域行政事務組合消防本部

いわき市消防本部

【関東】
さいたま市消防局

春日部市消防本部

東京消防庁

東京消防庁

酒井 雄二

矢幅 友哉

村上 篤

越崎 貞治

竹谷 英一郎

田窪 陽介

兼田 一志

藤澤 志

阿部 竜哉

阿部 英治

木村 信介

佐々木 大輔

北郷 典明

新妻 壮

木田 達也

鈴木 達也

岩田 幸宏

戸田 秀彦

浅間 勇樹

菅間 貴明

大橋 和明

鈴木 良平

近藤 祐介

佐藤 敬仁

白川 智仁

大橋 正明

大森 友博

今井 邦雅

菊地 嘉一

惠本 真也

横田 知彦

東京消防庁

川崎市消防局

峡南広域行政組合消防本部

浜松市消防局

【東海】
岡崎市消防本部

岐阜市消防本部

【東近畿】
高岡市消防本部

大津市消防局

【近畿】
尼崎市消防局

【中国】
岩国地区消防組合消防本部

小野晃平	細見元規	竹本貴道	小幡輝明	竹内雄一	渡辺英成	高田亮	濱田晃靖	佐山真也	梅田康弘	下田明夫	中村絢也	鈴木悠一	堂田昌一	橋本陽亨	北浦宏多郎	近藤健太	大脇光伸	池戸智洋	若園淳史	山本健吾	加藤浩太	浜崎旭浩	蜂須賀太克	鷹見一輝	永井洋輔	佐藤洋基	内山淳大	笠井雄伍	村松晋治	笠井城治	丸山隆弘	佐藤隆貞	榎田貞大	佐久間直人	宮崎順平	斉藤聖	金子聖	仲間寛光	白間毅
------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	------	-----	-----	------	-----

【四国】
幡多中央消防組合消防本部

【九州】
飯塚地区消防本部

筑紫野太宰府消防組合消防本部

幸田翔平	神原雅人	松瀬健吾	井上和久	即神壮一	松本圭介	吉田裕也	松岡信二	増田洋平	松田尚大	武田有司
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------



引揚救助(連携訓練)

五人一組(要救助者を含む)で、二人が空呼吸器を着装して塔上から塔下へ降下し、検索後、要救助者を塔下へ搬送し、四人で協力して塔上へ救出した後、ロープ登はんにより脱出する。地下やマンホール等での災害を想定した訓練。
【標準所要時間二分三〇秒】

表彰者

【東北】
北上地区消防組合消防本部

地主俊和	小田島大地	鈴木靖規	松木敦	高橋英伸
------	-------	------	-----	------

山形市消防本部

【関東】
稲敷地方広域市町村圏事務組合消防本部

東京消防庁

大和市消防本部

【東近畿】
宇治市消防本部

【近畿】
柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部

【中国】
広島市消防局

【九州】
日置市消防本部

大沼裕輔	星優太	武田智義	山内敬介	松山高也	清水道浩	中畑達也	丘野敬介	樋ノ口景太	畑中裕太	青木和雄	稲田哲	嶋田裕也	嶋崎俊昭	太齊公介	二宮大輔	青木仁	上西創	根本豪	長谷部湧	栗山尊徳	本西之祐	浅井暖之	岡本雅至	大西惇詞	岸之上裕一	田中啓祐	赤尾直哉	塩田恵悟	寺田伊織	蜂須賀司	樋高辰哉	上野孝明	坂野和夫	矢熊和夫	上園修平	中渡瀬裕樹	原口正樹	原園大	比良和隆
------	-----	------	------	------	------	------	------	-------	------	------	-----	------	------	------	------	-----	-----	-----	------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	------	-----	------

障害突破(連携訓練)



五人一組(補助者を含む)で、四人が緊密な連携の下、一致協力して「乗り越える」「登る」「渡る」「降りる」「濃煙を通る」の基本動作により五つの障害を突破する。災害現場の様々な障害を想定した訓練。
【標準所要時間三分一五秒】

表彰者

【東北】
鶴岡市消防本部

森将人	丸山将大	佐藤勝幸	岡部辰則
-----	------	------	------

仙台市消防局

【関東】
千葉市消防局

流山市消防本部

東京消防庁

東京消防庁

東京消防庁

茅ヶ崎市消防本部

大和市消防本部

【東海】
岐阜市消防本部

小形 雅宏
平井 雄太
佐藤 裕樹
石田 正憲
菅野 優一

椎名啓太郎
鈴木隆文
遠藤 真哉
染谷 直志
吉野 和勉
菅藤 裕樹
菅部 雄一
安部 隼人
知久 隼人
熊谷龍之介
鈴木 宏祐
石川 大隆
松尾 聡隆
村田 雄二
小泉 聡
廣畑 英二
岡田 卓也
南田 智晴
嶋根 和久
嶋根 和久
壽福 孝太
春日 孝太
水野 勇一
松野 俊一
小出 龍巳
天野 龍巳
有野 龍巳
小林 陽祐
長谷川 誠一
吉田 健輔
田村 徹士
蛭村 徹士
齋藤 正悟
星崎 達也
角田 英樹

【東近畿】
富山市消防局

【近畿】
大阪市消防局

【中国】
広島市消防局

【四国】
高松市消防局

【九州】
薩摩川内市消防局

水口 尊幸
山口 靖二
藤田 康晴
長谷川 伸哉
山崎 雄太
楠 雄太

伊藤 雅彦
飯田 院一
安嶋 美久
原田 祥吾

中尾 新士
洲濱 成自
山崎 真良
丸山 基良
中山 孝

藤澤 健治
竹田 匡徳
山本 卓也
高橋 智仁
木葉 智広

田中 誠人
小牟田 健介
川添 勝文
上川 修平
橋口 智平



水上の部

基本泳法(基礎訓練)



「じゅんか飛び込み」で入水した後、常に顔が水面に出た状態で、基本的な泳法である「ぬき手」と「平泳ぎ」でそれぞれ二五メートルずつ泳ぐ。水難救助の基本的な泳法を習得するための訓練。
【標準所要時間四〇秒】

表彰者

【東北】
大館市消防本部 加賀谷陽太
塩釜地区消防事務組合消防本部

【関東】
新潟市消防局 中村 治孝
前橋市消防局 宮田 恭平

川口市消防局 染谷 将利
草加市消防本部 里 純哉
東京消防庁 朝日 耕翔
東京消防庁 白川 介
東京消防庁 志鷹 浩世
小田原市消防本部 鈴木 秀和
茅ヶ崎市消防本部 末角 優輝
静岡市消防局 齊藤 傑

【東海】
名古屋消防局 伊藤 剛史
衣浦東部広域連合消防局 加藤 昌純

【東近畿】
大津市消防局 清水 泰博
湖南広域消防局 中島 和洋
京都市消防局 森 優人

【中国】
大阪市消防局 矢野 太志
箕面市消防本部 清水 哲平

【四国】
広島市消防局 竹松 真吾
山口市消防本部 清崎 恵佑
阿南市消防本部 表原 充典

【九州】
長崎市消防局 廻 多佳史



複合検索(基礎訓練)

マスク、スノーケル、フインを着装し、スノーケリングで障害物（救命浮環）を突破しながら水中に沈められたリング4個を検索して、引き揚げる。水中の行方不明者の搜索を想定した訓練。

【標準所要時間四〇秒】

表彰者

- 【東北】八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部 浜谷 健介
- 能代山本広域市町村圏組合消防本部 安井 径
- 【関東】仙台市消防局 佐々木浩司
- さいたま市消防局 須藤 圭介
- 市川市消防局 鳥家 吉高
- 東京消防庁 小出 大祐
- 能登谷一輝
- 東京消防庁 吉田 翔太
- 横須賀市消防局 佐々木 光
- 藤沢市消防本部 伊藤 光宏
- 相模原市消防局 鈴木 武
- 静岡市消防局 山本 啓太
- 田方消防本部 深沢 剛
- 【東海】小牧市消防本部 沖山 英次
- 知多市消防本部 片山 清勝
- 【東近畿】奈良市消防局 赤阪 和俊
- 奈良市消防局 福田 雄次
- 【近畿】堺市消防局 丸田 晃平
- 守口市門真市消防組合消防本部 大橋 毅之
- 【中国】東広島市消防局 池崎 匠
- 松江消防本部 幸田 一輝
- 【四国】徳島市消防局 新田 貴徳
- 【九州】杵藤地区広域市町村圏組合消防本部 宮崎 貴士
- 水俣芦北広域行政事務組合消防本部 有本 剛志
- 高遊原南消防本部 松本 卓実

溺者搬送（連携訓練）



二人一組（要救助者を含む）で、救助者が「じゅんが飛び込み」で入水後、要救助者（溺者）を注視しながら近づき、チンブールで確保した後、ヘアーキャリーにより救助する。

【標準所要時間四二秒】

表彰者

- 【関東】東京消防庁 石川 朝日
- 東京消防庁 平野 修也
- 東京消防庁 山本 由美
- 東京消防庁 升崎 勝裕
- 東京消防庁 渡邊 寛彌
- 宮本 直也
- 森本 脩
- 長竹 康介
- 篠崎 郁蘭
- 柴崎 雅彦
- 村上 雄一
- 【東海】名古屋消防局 藤沢市消防本部
- 川崎市消防局
- 【東北】東京消防庁

【東近畿】

白山野々市広域消防本部

小坂 寛之

京都市消防局

松田 剛

【近畿】神戸市消防局

星野 真行

【中国】広島市消防局

有田 達洋

【四国】徳島市消防局

中嶋 直樹

【九州】水俣芦北広域行政事務組合消防本部

松本 智聖

森下 昌吾

寺下 昌吾

小林 祐司

寺下 昌吾

人命救助（連携訓練）



三人一組（要救助者を含む）で救助者が「二重もやい結び」のロープをたすき掛けにして要救助者の位置まで泳ぎ、要救助者をクロスチェストキャリーで確保し、補助者が救助ロープをたぐり寄せて救助した後、再び水没しつつある要救助者（訓練人形）を水面に引き揚げ、救助する。

【標準所要時間一分二三秒】

表彰者

- 【北海道】札幌市消防局 竹村 貢規
- 【関東】東京消防庁 小賀 亮典
- 東京消防庁 渡邊 真
- 東京消防庁 竹内 豪一
- 東京消防庁 亀崎 雄太
- 東京消防庁 二関 太郎
- 東京消防庁 落合 功邦
- 川崎市消防局 木村 翔太
- 川崎市消防局 小谷 将一
- 川崎市消防局 矢野 裕太
- 川崎市消防局 千葉 健一
- 【東海】名古屋消防局 清水 将
- 【東近畿】大津市消防局 村上 雄一
- 【近畿】神戸市消防局 守口 洋
- 【中国】広島市消防局 大沢 仁志
- 【四国】高知市消防局 山本 勝巳
- 高知市消防局 高山 彰
- 高知市消防局 宮村 利幸
- 高知市消防局 石丸 知展
- 高知市消防局 吉田 知展
- 高知市消防局 上本 健太
- 高知市消防局 津元 伸太
- 高知市消防局 松本 智聖
- 高知市消防局 安岡 憲祐
- 高知市消防局 野村 祐平
- 高知市消防局 武政 誠

溺者救助(連携訓練)



三人一組(要救助者を含む)で救助者と補助者の二人が協力して浮環にロープを結着後、補助者が浮環をプール内へ投下して救助者が二〇メートル先の要救助者の位置まで搬送し、これに要救助者をつかまらせ、補助者がロープをたぐり寄せて救助する。

【標準所要時間四三秒】

表彰者

【東北】
新潟市消防局

【関東】
那珂市消防本部

川口市消防局

相馬 貴志
本間 康幸
小田 雄介

永井 孝裕
後藤 亮祐
野上 亮幸
松本 光弘
森本 亮太
浅井 俊紀

東京消防庁

東京消防庁

東京消防庁

【東海】
名古屋市消防局

【東近畿】
大津市消防局

【中国】
松江市消防本部

【四国】
松山市消防局

渡豪一真

竹内 雄太

亀崎 修也

平野 功太郎

落合 翔太

志村 浩世

武田 英志

渡邊 寛彌

戸田 雄太

林田 裕司

名和 正智

山中 創

中山 彰

高西 彰

水中結索(連携訓練)



三人一組で水中の結索環に、第一泳者は「もやい結び」、第二泳者は「巻き結び」、第三泳者は「ふた回りの結び」のそれぞれ指定された三種のロープ結索を行う。水中におけるロープ結索技術を習得するための訓練。

【標準所要時間一分四六秒】

表彰者

【東北】
八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部

いわき市消防本部

【関東】
東京消防庁

東京消防庁

福田 大貴
荒川 紳之介
嶋脇 達久
永井 義久
戸部 慎也
小磯 雅

白川 耕介
提橋 敦司
東畑 隆大
渡邊 裕太
菊地 爵太
上澤 勇太

東京消防庁

藤沢市消防本部

【東近畿】
大津市消防局

【中国】
鳥取県東部広域行政管理組合消防局

【四国】
三観広域行政組合消防本部

【九州】
熊本市消防局

熊本市消防局

南 慧基

忠原 潤一

松原 竜規

大西 正陽

岩崎 康介

長竹 康介

黒島 和司

澤田 貴哉

上田 広大

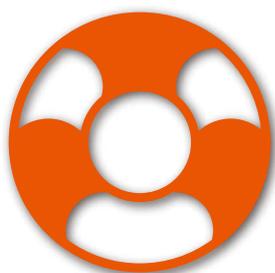
濱田 大

井上 康範

荒石 大輔

浪越 芳和

古子 進野



水中検索救助(連携訓練)



四人一組で第一泳者が水面を、第二泳者が水中をそれぞれ検索し、水没している要救助者(訓練人形)を発見して水面へ引き揚げた後、第三泳者と第四泳者が協力して対岸の救出地点まで搬送し、救助する。

【標準所要時間一分四二秒】

表彰者

【東北】

八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部

浜谷 雄生
関口 雅史
菊池 大典

【関東】

東京消防庁

小出 大祐
渡邊 裕太
能登谷 一輝
榮田 昭彦
上澤 勇太
二関 竜太郎
菊地 爵寿
石井 孝

東京消防庁

東京消防庁

【東海】

小牧市消防本部

石川 貴仁
駒田 健亮
尾崎 雄介

【東近畿】

京都市消防局

沖 英次
山下 恭史
稲葉 智文
伊藤 勇介

【近畿】

守口市門真市消防組合消防本部

山中 徹郎
松川 智則
竹内 完治
小西 立紘

【中国】

松江市消防本部

東都 源也
大橋 毅之
橋本 光治

【四国】

徳島中央広域連合消防本部

山本 康博
吉田 悠
高橋 啓太
高橋 良樹

【九州】

水俣市北広域行政事務組合消防本部

妹尾 晃樹
三木 隆寛
三川 将輝
三木 将人

菊川 浩平
山田 容輔
迫本 昌文
有本 剛志

技術訓練
定められた救助方法や資機材に縛られることなく、創意工夫のもとで、より安全で迅速・確実な訓練を発表するもの。

陸上の部

【北海道】

札幌市消防局

後藤 敏行
石川 雄大
木村 一洋
富田 雄貴
斉藤 政夫
浅藤 修太
荒井 健太

(訓練想定)

新築建物の工事現場で作業員2名が転落し、建物の壁体部分に宙吊り状態になっている。
はしご車等は部署不能であるため、建物屋上部分から要救助者2名へアプローチする。負傷程度の観察結果から優先度の判断及び有効な応急処置を施し、かつ安全・確実・迅速に地上部分へ救出する事をテーマに訓練を実施する。

(着眼点)

①実態把握、状況判断に基づく隊長の活動方針の決定と隊員への周知
②安全・確実・迅速な救出方法の選択と隊員間の連携した応急処置
③状況に応じた効率的な資機材の活用



【東北】

大船渡地区消防組合消防本部

田中 貴之
石橋 良
梅澤 聖史
村上 浩朗
今野 和友
田中 和友

(訓練想定)

3月中旬、大津波が来襲した市街地の捜索救助活動中、大津波襲来以降、行方不明となった家族を捜索している方に遭遇、60歳代男性1名が行方不明である旨の情報を得る。

情報に基づき、倒壊を免れた3階建ての建物内部の検索活動を実施、建物3階に自力歩行不能、軽度の低体温症状が疑われる要救助者1名を発見する。

(活動条件)
津波瓦礫が建物周囲及び内部に流入、山積しており、屋内階段からの救出は困難。

地表面も広範囲にわたって瓦礫・ヘドロ・海水等に覆われており、安全スペースはごく一部に限られている。
また、救助工作車等の車両の進入は不可能な状況である。





【近畿】

大阪府消防局
堺市消防局
東大阪市消防局
枚方寝屋川消防組合消防本部
豊中市消防本部
八尾市消防本部
和泉市消防本部
富田林市消防本部
(訓練想定)
地震により倒壊した建物に要救助者2名が取り残されているもの。
要救助者は、B塔で窓ガラス清掃中に宙吊りとなった作業員1名及びC塔において倒壊し孤立した居室に取り残された1名。
倒壊建物周辺は瓦礫が散乱しているため消防車両は近づけず、直下からの要救助者への接触と救出は不可能。2名の要救助者を隊員8名が心をひとつにして連携し、安全、迅速、確実に要救助者を地上部分(救出可能場所)へ救出する事をテーマに訓練を実施する。

橋本 吉田 中田 池田 増田 北山 中塚 隆文 大智 巨亮 憲樹 秀昭 隆文 康平

水上の部

(着眼点)
①要救助者の容態を考慮した担架引揚げ方法
②高所支点がない場合の担架引込み方法
③ブリッジ線を利用した地上への救出方法

【東近畿】
白山野々市広域消防本部

藤村 朋之 小坂 寛政 下谷 大介 清水 光治 中村 雄太 坂本 隆太 川岸 友博 別所 智紀 木下 康

(訓練想定)
天候の急変で増水した河川内に男性3名が取り残されている。
(状況)
「対岸は断崖のためアクセスできず、河川内は濁流で流速が速く、障害物が多く存在する。」という状況のため、三連梯子と救命ボートを組み合わせた救助法により、安定した活動拠点を自由自在に移動させ、河川内の活動障害を回避し、いかに安全、迅速、確実に複数要救助者を同時に救出するかをテーマに訓練を実施する。

(着眼点)
①流水域における複数要救助者の同時救出
②流水内の障害物を自在に回避できる安定した活動拠点
③対岸に人員、資機材(ロープ)を渡すことができない状況での中州救助法
④流水域での音声以外(手信号、ホイッスル)による意思の疎通



【九州】
熊本市消防局

内田 憲一郎 高口 和也 具志堅 政樹 假屋 和之 早坂 光輝

(訓練想定)
自隊にて考案し、作成したウオーターレスキューフレイムを使用し、水深5mの位置に要救助者がいるものとする。
(概要)
ウオーターレスキューフレイムを使用した水中検索を潜水隊員4名で実施し検索にあたる。(ウオーターレスキューフレイムを使用することにより、悪条件下での信号の確認及び隊員間の円滑な検索活動ができる。)
要救助者発見後、防水ブザーを要救助者に取り付け、万が一見失っても音で位置が確認できるように設定し、策間潜水隊員2名で水面までの救出にあたる。基点・策端潜水隊員にあつては、ウオーターレスキューフレイムの撤収を実施する。



なお、要救助者の救出は、自隊で開発したエアーチューブを使用し、水面へ浮上させる。

第41回

全国消防救助技術大会

〈市民インタビュー〉

結城さん

- 以前に息子が高所から転落し、レスキュー隊に助けられました。
- こういう場に来て息子の夢が叶うように、いろいろなことに触れさせ少しでも刺激になればいいなと思っています。
- 人を助ける仕事をしている人は、カッコいいと思います。
- 大人になったら、ハイパーレスキューになりたいです。(by 颯征)



吉澤さん・野尻さん

- 家の近くに消防署があり、よく訓練を見に行っています。
- 一緒に腕立て伏せをさせてもらったり、触れさせていただき感謝しています。
- スーパーアンビュランスの展示などすごくカッコいいです。
- 消防の皆さんは、常に一生懸命でカッコよくて頼りがいがあると思います。

森山さん

- 幼稚園の通園路に救助大会のポスターが貼ってあるのを見て初めて来ました。
- 午前中「ららぽーと豊洲」に行ってみました。展示コーナーやいろいろな体験コーナーがあって、子ども達も大喜びでした。
- 東日本大震災時の活躍をテレビニュースで見、レスキュー隊がかっこいいと思いました。
- 大規模な災害時にはリーダーシップをとって、パニックになった人たちを導いて欲しい。



一般財団法人全国消防協会
Firefighters' Association of Japan

— 安心への選択 —

消防職員とその家族を守る団体保険です！

全国消防グループ保険 (生命保険)

消防職員医療保険 (損害保険)

消防職員傷害保険 (損害保険)

消防職員賠償責任保険 (損害保険)

一般財団法人全国消防協会の消防団体保険は、全国16万人の消防職員の助け合いの制度です。消防職員とそこそご家族の皆様の福利厚生に是非ご利用下さい！

お問い合わせは ☎ 0120-119-147 (生命保険)

☎ 0120-065-988 (損害保険)

消防団体保険の収益は、全国消防救助技術大会の開催をはじめ、全国の消防職員のための事業の実施に活用されています。

オーブンギング セレモニー

●「小比類巻かほるさんと東京消防庁音楽隊のコラボレーション」



日本中が猛暑となった今年の夏。眩しい夏の日差しが照りつける中、救助訓練棟の横から、歌手の小比類巻かほるさんが、真っ赤なオーブンカーに乗り颯爽と現れました。それまでの会場を包んでいた張りつめた緊張感が一転、華やかな雰囲気になりました。

オーブンギングセレモニーとしてソウルフルなボーカルでヒット曲を連発し一世を風靡した小比類巻かほるさんが、「震災活動に派遣された隊員への激励」と「震災で被災された地域へのエール」という思いを込めて、開催地の東京消防庁音楽隊とのコラボレーションにより、「Hold On Me」(I'm Here)「TOGETHER」の3曲を力強い歌声で披露していただきました。会場からは惜しみない拍手が送られ、おおいに大会を盛り上げていただきました。



ハーフ タイムショー

●「気仙沼八幡太鼓ジュニアベストチーム」



水上会場の東京辰巳国際水泳場のハーフタイムを盛り上げていただいたのは、宮城県気仙沼のいつも明るく元気な子ども達で構成される「気仙沼八幡太鼓ジュニアベストチーム」でした。

八幡太鼓は、鹿折(ししおり)八幡神社の御名前を頂き命名され、美しい地球の世界平和を祈願した神社の太鼓です。前半の訓練が終わり、会場のこれまでの緊張した雰囲気から開放されると、気



仙沼八幡太鼓ジュニアベストチームが入場し、演奏が始まりました。静かに響き渡る篠笛の音に、会場は静まり返りました。太鼓の演奏になると、広大な会場の空間に子ども達の太鼓の音が、精神性を漂わすかのように響き渡ると隊員をはじめとする来場者の心を魅了しました。

「全国消防救助技術大会の人命救助などの競技を見て、どの競技もすごく早くてびっくりしました。こんなにすごい人たちが私たちの気仙沼に救助しに来てくれたんだと、感激しました。太鼓の演奏を消防の人たちに見てもらいたいと思、感謝の気持ちを込めて一生懸命たたきました。消防の人たちに聞いてもらってうれしかったです」と九条小学校5年生の佐藤璃香さん。

ハーフタイムショーとして大会会場を盛り上げていただいた、元気な子ども達の笑顔がとても印象的でした。

消防車両展示コーナー（陸上会場）

消防車両展示コーナーでは、敷地いっぱい特殊車両や新型車両がずらりと大集結！ 大人から子どもまで普段あまり見ることができない車両に興味津々の様子でした。そんな車両の前でカッコいい救助隊員と防火服・救助服・救急服の中から好みの服に着替えて「ハイ、ポーズ」。幼い消防士の瞳は、当日の真夏の太陽のようにキラキラ輝きを放っていました。



消防体験コーナー（陸上会場）

消防体験コーナーでは、起震車で過去の様々な地震を体感することができたり、ミニ消防車やミニ救急車に乗車し、消防士さながらの気分を味わうことができます。

中でも、はしご車搭乗体験コーナーでは、ずらあ〜と長蛇の列ができるほどの大人気ぶり！ 子ども達は、はしご車のバスケットから見る高所からの視界に驚きを隠せず絶叫！…かと思えば、ご満悦のVサイン。はしご車を心底楽しんでいました。



君もレスキュー隊！綱渡り体験！（ららぽーと豊洲会場）

ららぽーと豊洲会場で行われていた綱渡り体験では、子ども達がレスキュー隊員さながらの綱渡りを体験していました。

千代田区から来たオケソン・ニコくん（5歳）も緊張した面持ちで一息懸命渡っていました。渡り終えた後に話を聞くと、「楽しかったけど、落ちそうになって怖かった！ 大人になったら消防士になりたい!!」と、力強く話してくれました。



レスキュー隊員と5番勝負！（ららぽーと豊洲会場）

ららぽーと豊洲会場で行われていたレスキュー隊員と5番勝負！では、腕相撲・指相撲・綱引き・じゃんけん・笑顔の各対決で、“レスキュー隊員VS子ども達”の真剣勝負!?が行われました。

日ごろの訓練で、強靱な体を持つレスキュー隊員も、どうしたのか子ども達にはなかなか勝てず苦戦していました。

また、レスキュー隊員に勝った子ども達は大喜び！勝ったご褒美に記念品をもらい誇らしげに帰っていきました。



ぬり絵コーナー（ららぽーと豊洲会場）

ららぽーと豊洲会場のぬり絵コーナーでは、大勢の親子で賑わっていました。

大人から子どもまで真剣に消防車に色を付け、思い思いのカラフルな消防車ができて上がっていました。中でも印象に残ったのがレインボーカラーの消防車!! こういう消防車が街中を走っていたらカッコいいだろうな…と思いました。



防災コーナー（ららぽーと豊洲会場）

ららぽーと豊洲会場の防災コーナーでは、地震体験・非常食の試食・防災相談等が行われました。こちらは、首都直下地震等の発生が予想されていることから住民の皆さんの関心が高く、家具の転倒防止策やガラスの散乱防止策など、指導員に質問されていました。

非常食の試食では、思っていたよりおいしいなどの声が上がっていました。

これを機会に、もっともっと防災に関して興味を持っていただければと思います。



大会ダイジェスト

